

特攻の史実を 後世に残す②

知覧特攻平和会館では、「知覧からの手紙」（知覧特攻遺書）を、平和を願い、知覧から世界へ語り継ぐため、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指しています。

日本一の母

宇佐美輝夫少尉

出身地 福島県
第180振武隊（享年18歳）

宇佐美少尉の父親も出征し、一人残るお母さんを「日本一の母」と慕い、トランプで母や自分の運勢を占い、『一人前の男になった様な満足感』を抱きながら、特攻直前に大好きな母宛てに永久の幸せを願いながら、特攻出撃する18歳隊員の遺書です。



御母様

いよいよこれが最後です。

小さい時より御心配ばかり御掛けして来た私ではありませんが、今こうして、出撃命令を受け取って見ると何だか一人前の男になった様な満足感が、全身を走ります。いよいよ一人前の戦士操縦者として、御役に立つ時が来たのです。

前にも書いた通り、一族の名譽にかけても必ず必ず頑張ります。

御優しい、日本一の御母様

今日「トランプ」の占いをしたならば、御母様が一番よくて、将来最も幸福な日を送ることができそうです。御父様も日は長くかかる様ですが、帰って来て一緒に暮らすことが出来るそうです。輝夫は本当は三十五才以上は必ずいきるそうです。（中略）

次に、ここまで持って来た私の私物を遺品として御送りします。

御両親様の御写真、一緒に沈めることはいけないことなので今ここにを入れて御返し致します。

毎日、輝夫の行動、操縦等を残らず見て居て下さった御優しい御写真と今日別れると思ふと、実に淋しいものであります。御写真と別れしても、天地に恥じざる気持ちにて 神州護持に力めます。

短い様で長い二十年間でした。（中略）

いつもいつも僕の手柄を祈って下さる日本の御母様。いついづれでも御元気で居て下さい。御父様には別に書きません。

では元気で行って参ります。

御母様へ 永久にサヨナラ輝夫より

知っていますか？ 指定文化財⑤

旧知覧飛行場給水塔



▲旧知覧飛行場給水塔

昭和16年（1941年）に飛行学校の施設として築かれた当時の姿を留めていた施設です。高さ約13m、直径約6mでやや傾いています。平成8年（1996年）～10年（1998年）に基礎工事とコンクリート修復工事を行い、今は安定しています。高架式のタンクに貯水したとされ、飲料水や飛行機の整備のために利用されてきました。近くには防火水槽や弾薬庫、油脂庫などが残っていて、当時の様子を彷彿とさせてくれます。

無料法律・登記・税務相談所開設

10月1日「法の日」にちなんだ記念事業として司法書士・土地家屋調査士・税理士による無料相談所を開設します。さまざまな相談に対応しますので、ぜひご利用ください。詳しくは、お問い合わせください。

- 日時 10月4日（土）
午前10時～午後4時
- 場所 額娃文化会館

【お問い合わせ】

鹿児島県司法書士会
☎099-256-0335
鹿児島県土地家屋調査士会
☎099-257-2833
南九州税理士会 鹿児島県連合会
☎099-225-6148